

昨年の75周年同窓会記念事業実施の具体案の項目の1つに「地区別同窓会」開催の計画があげられました。前同窓会長の佐藤カスミさんが、6年前から五和地区の同窓会を「花月五和会」と称して、実施していらっしゃいます。

その実践例を紹介しますので、皆さんも先輩に倣って、地区別同窓会を頂ければ幸いです。



「花月会」から「花月五和会」に

母校創立六十五周年と七十周年を迎えた折式典、同窓会等をどう運営していくか。役員一同で考えました。その中で、同窓会会員のつながりが弱いということに気づきました。

女性の場合は、結婚等によって、生育地に住みつくことが少なく、同窓会員が近くにいるかどうかもわからないまま過ごしている状態です。そこで小さな集落に目をつけることにしました。

早速手にした「はなつき会会員名簿」から、五和地区に住む同窓会会員の名前を拾いあげました。一回生から十九回生までで四十七名あげてきました。役員が地区に在住しているかを確認「はなつき五和会」の名簿をつくり、年に一回の懇親会をしています。

七十五周年式典の折には、誘い合って参列しました。会員同志のたてのつながりができ、母校、生徒を通しての母校の様子もわかり、母校を大切に思う方向がみえてきたようです。

「はなつき五和会」の一員  
佐藤 カスミ